

日本経済新聞

2018年5月12日 (土)

検索 [] 記事 株価

トップ 経済・政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際・アジア スポーツ 社会 地域 オピニオン 文化 マネー ライフ

朝刊・夕刊 日経会社情報 人事ウォッチ Myニュース

マレーシア新政権、ばらまき維持

「反腐敗」で野党勝利 財政悪化で資本流出懸念

2018/5/11付 [有料会員限定]

保存 共有 印刷 CO ME Twitter Facebook その他

【クアラルンプール=岩本健太郎、中野貴司】マレーシアはかつて高度成長を実現したカリスマ的指導者、マハティール氏の下で新たな成長モデルの確立を目指す。ただ、政権交代を最優先した野党連合のマニフェスト（政権公約）には消費税の廃止など大衆迎合的な経済政策が並ぶ。汚職排除への期待は高いが、ナジブ政権と同様のばらまき体質が続けば、財政不安が通貨安や資本流出を招く懸念もある。（1面参照）

「かつては勢いのある新興国だったのに、今は汚職ばかりの国と世界からみられる。国としての誇りを取り戻したい」。広告代理店に勤めるアリトン・ソリアーノさん（29）はマハティール氏が首相だった小中学生の頃のことをよく覚えている。豊かではなかったが、皆が右肩上がりの実感を持てた。往事の再現を期待する多くの国民の思いをマハティール氏の野党連合がすくい上げた。

ナジブ氏の汚職体質への国民の不信は強い。2015年に明るみに出た国営投資会社「1MDB」を巡る資金の不正流用疑惑で、米司法省は45億ドル（約4900億円）以上の資金が横領され、ナジブ氏に近い複数の人物が関わったとみる。ナジブ氏は疑惑を否定し、追及した政治家を要職から外すなどの措置をとった。

新政権は、汚職対策と成長再加速への期待を背負って始動する。マハティール氏には、1981年から03年までの在任中、時に「開発独裁」と批判を浴びながらも国内総生産（GDP）を4倍近く増やした実績があり、カリスマ的な指導力への期待は大きい。

だが、成長回帰は容易ではない。

野党連合のマニフェストには、消費税の廃止や燃料補助金の再導入、高速道路料金の無料化など目先の支出増や収入減につながる項目が多く並ぶ。激しい選挙戦を勝ち抜くために人気取りを優先した影響が濃い。

国際通貨基金（IMF）によると、17年時点でマレーシアの政府債務はGDP比で推計54%。周辺国のタイ（42%）やインドネシア（29%）と比べても財政状態は良くない。ナジブ政権は政権維持のため、低所得者向けの給付拡大などばらまきに走った。新政権は、その負の遺産を引き継いだうえで、自身の公約によるばらまきも続けざるを得ない立場にある。財政余力が乏しい以上、成長分野の育成などに割く財源も制限される。

気がかりなのは海外マネーの動きだ。公約通りに消費税廃止による歳入減と補助金の再導入などの支出膨張が現実になれば、財政悪化懸念から資本流出が起きる可能性も高



画像の拡大

記者会見を終えて席を立つマハティール氏(中) (10日、クアラルンプール郊外) = 柏原敬樹撮影

マレーシアの債務はアジアの中でも高水準



画像の拡大

- マハティール氏の掲げる主な政策
・消費税の廃止
・燃料補助金の復活
・最低賃金の引き上げ
・政府系企業の経営改革
・高速道路の無料化
・汚職対策の強化

画像の拡大

Table with market data including Nikkei Average, NY Dow Jones, Nikkei Asia 300, Yen, Euro, Long-term interest rate, and NY Oil prices.

日経平均について (銘柄一覧) Quick

Advertisement for Cisco solutions, featuring text like 'スタジアムや街が、ICTで進化する' and '事例公開中'.

Member notices and subscription information, including '日経からのお知らせ' and '会員向け新着情報'.

Recommendation section with various service buttons like '社会人大学院', 'レストラン', 'BizGate', etc.

Job and product recommendations, including '就職希望企業ランキング', '雷克萨斯LS特別対談', and '宇宙飛行士の山崎直子さん'.

まる。マハティール氏が野党連合の勝利を受けて10日と11日を祝日にしたのは、通貨リングの売りや株安が加速する事態を緩和する狙いもあったとみられる。

マハティール氏はナジブ政権が決めた大規模なインフラ整備計画を検証するとしており、外資が参画する案件の実現が遅れる可能性もある。その副作用として、海外からの投資資金流入にブレーキがかかりかねない。

新政権は、中国やインドの台頭、産業のデジタル化など、かつてマハティール氏が国を率いた時代とは異なる状況に直面する。再登板するマハティール氏が現代の技術革新に沿った産業政策や成長戦略を打ち出せず、ばらまきの反動が顕在化するようなら、ナジブ政権のように国民の失望を招く恐れもある。マハティール氏は前の首相時代にマレー系国民を優遇する「ブミプトラ政策」を進めた。マレー系以外の高度人材が国外に流出し、経済成長を妨げたとの指摘もある。人種や宗教などの幅広い基盤に基づく包括的な成長につなげられるかどうかとも試される。

保存 共有 印刷 翻訳 COME ツイート その他

電子版トップ

関連キーワード

- マレーシア政府 マハティール 1MDB マレーシア IMF 政府 ナジブ政権 新政権

- 与党連合に嫌気 (2018/5/11付)
民族の融和カギ (2018/5/11付)

PR 自宅マンション「売る・貸す・買う」に備えよう【東京レジデンスマーケット】

類似している記事 (自動検索)

- マハティール新政権への注文 (2018/5/11 1:16)
マハティール氏、首相就任 マレーシア下院選勝利 (2018/5/10 23:09更新)
カリスマ再登板、成長持続の壁高く マレーシア (2018/5/10 17:35)
マレーシア 初の政権交代へ マハティール氏、首相に (2018/5/10 10:16)
マレーシア下院選、野党連合が過半数獲得 初の政権交代へ (2018/5/10 3:49)

PR マンションを知り尽くした大手7社が集結したマンションサイト【メジャー7】

PR 新事業・新商品のテストマーケティングを低リスクで実現/未来ショッピング

PR 行きつけのお店はありますか? 自慢の粋な居酒屋なら/大人のレストランガイド

PR 注目のマンション&都市型戸建て物件そろそろ! /春の新築物件セレクション

PR 【春割】日経ビジネスDigitalセットが6月末まで無料! 申込はこちら

PR 新事業・新商品のテストマーケティングを低リスクで実現/未来ショッピング

PR 最新のサービスやイベント情報をお届けします【日経電子版コンシェルジュ】

PR 企業の業務効率を最新テクノロジーを活用して実現/日本IBM

PR マンション売却にまつわるトラブルQ & A【東京レジデンスマーケット】

[PR]トレンドウォッチ

一覧>

ホーム&メルシエの新作

デザイン、機能、価格の絶妙なバランス。スイスの老舗時計メゾンが仕掛ける新たな挑戦



アクセスランキング

一覧>

- 1. スルガ銀「書類改ざん知りながら融資」不正巡り調査
2. 30歳まで「新卒」リクルートなど大手、採用広げる
3. スルガ銀「検査忌避になり得る」金融庁が警告
4. アマゾン効果、宅配シェア動かす 日本郵便が急伸
5. アマゾン効果、宅配便勢力圏に異変 日本郵便が急伸
6. 大谷が5号ソロ、7度目マルチ 平野は1回を三者凡退
7. 株高でも喜べぬ投資家 けん引役不在、上値の重荷に
8. (生活)「新入社員、辞めないで」
9. ソフトバンク10兆円ファンド 3メガ銀が出資へ
10. 米朝会談「成功取る」

5/12 1:00 更新

日経BP社

日経 xTECH (クロステック)
第2の大東建託か? 福島電力が新電力撤退へ

日経 xTREND (クロストrend)
CM分析のお値段、競合が何GRPを放送したか地域別に分かる

日経ビジネス

解析ロシア
朝鮮半島島展開、募るロシアの置き去り懸念

磯山友幸の「政策ウラ読み」
株高でも進まない「貯蓄から投資へ」

NIKKEI STYLE

WOMAN SMART
夫も家事メン! 「狩猟本能」くすぐるゴキゲン掃除機

出世ナビ ユニ・チャームの高原社長
「異様なまでのごだわり」を 日本の経営に足りぬ野性

ヘルスUP
気温上昇中、今年は春から脱水対策

グルメクラブ 食の達人コラム
カナディアンウイスキー 日本の麴を使いこなして進化

日経BizGate

東大卒棋士のAI勝負脳
15歳の「藤井聡太」はなぜ将棋に勝てるのか

天下人たちのマネジメント術
西郷隆盛 弱点はストレス・人事下手

College Cafe by NIKKEI

「落ちたかも...」と思っても通過
就活生が知らない面接の裏側